

2008年3月25日 早稲田大学会計研究科学位授与式「祝辞」 於:早稲田大学国際会議場井深大記念ホール
 会計研究科ホームページにも掲載しています!

日本というブランドを意識しながら、
 世界と互角に渡り合える力を・・・
 八劔 洋一郎 S A P ジャパン株式会社 代表取締役社長

皆さんこんにちは、修了おめでとうございます。私も自分の卒業式を思い出そうとしましたが、ちょうど三十年前ともなると細かくは思い出せません。

私も職業柄こういうスピーチや講演などを頼まれることがあります。相手は会社の方であることが多いです。一方では大学や学校などから特別授業をして欲しいという依頼が時折ありますし、中学校などでは特別授業をやったことがあります。就職するってどういうことか考えたことありますか、それが授業の内容です。だいたい中学生くらいになると、ある程度は自分の進路について頭に浮かんでるんです。私は中学生に聞いてみるんです。たぶん、貴方は今の成績で進路を選んでますよね。偏差値がいくつくらいとか、それくらいで選んでますよね。大学もそうで、場所がどうだ偏差値がどうだ国立か私立か。では、貴方は大学を修了した後はどうするんですか。会社をどう選ぶか考えたことありますか。中学生は大抵がポカーンとしています。「こういう仕事をしたい」とはっきり考えている人は滅多にいません。講義そのものは、「働くのは決して簡単ではないので、働くということに少し興味を持ってください。お父さんお母さんが働いているのであれば、仕事の内容に興味を持ってみてください。それが第一歩です」と締めくくります。

そんな話を偉そうにしている自分は、三十年前にどんな形で就職したのかと聞かれると、とても人には言えないような選び方をしました。

私は最初、日本IBMという会社に営業マンで入社しました。周囲は猛反対だったんですが、二つ理由があったんです。一つは外資系企業であるということ。外資系企業は怖い存在で、取って食われるから君には向いていない。そう言われました。せっかく理科系の大学を出てなぜ営業マンか、というのが二つ目。実は営業マンの存在というのは、日本ではポジションが高くありませんが、欧米では花形の職業です。この違いはどこから来たのか。背景は職業に貴賤があった江戸時代にありました。土農工商です。営業やマーケティングなどは最も賤しい商に分類され、現代に至ってもどこかで位が低く見られるのです。このように説明すると、外国の方でも納得されます。

次に、外資系企業。これには私も怖いものを感じていましたが、周囲があまりにも止めるものですから、逆に怖いもの見たさで入社することになりました。外資系企業に身を置いて、一つわかったことがあります。私の考えですが、日系企業と外資系企業の本質的な違いは指示です。日本は間接的で暗示的であり、外資系は直接的で明示的である。仕事を頼む時、「あれ上手くやっついてよ」というのは日本ではしかありえません。あれとは何か。上手くとは何か。あれとは「あの書類をこういう風に綴じて反応を聞いてきて、」などであり、上手くとは「反応がいいという裏書を取ってくれ、」などということですが、欧米では当然通じません。上司は部下に逐一言いますし、部下も上司に

向かって具体的な指示を仰ぎます。

一方、欧米の上下関係は意外と風通しが悪い。日本の印象では上司も部下もフランクに言い合っていると思われがちですが、仕事に関して言えば「イエッサー」なんです。それ以外の答えは基本的に期待していない。二十五年間アメリカの企業に勤めている中で、私はそういう風に判断しました。その後はいくつか日本企業も経験し、昨年四月にSAPジャパンに入りました。

入社に当たって、同社のトップエグゼクティブに質問しました。アメリカの企業はわかっているつもりですが、SAPはドイツの企業ですから、ドイツの企業はぜんぜんわからない。何かアドバイスがあったらしてくれないか、と。すると彼は一瞬考えてから、「八劔さん、アメリカという国を想像してみよう。いろんな人種がいるよね、いろんな文化があるよね、実際にはいろんな言語があるよね。それをアメリカという国が一つの文化で、一つの言語でコントロールしようとしているよね。ヨーロッパを見てみよう。事態は同じだ。ただアメリカのように一つの文化や一つの言語でコントロールしようとしていない。これが違いだ。日本という国でSAP社がやっていく際には日本なりの要求があるだろうが、どんどんぶつけて欲しい。それが君の役目だ」と言いました。正直、私は感動しました。こんな言葉を聞いたのは初めてだったからです。それが嘘か真かを確かめるためにも入社したわけです。今のところは裏切られていません。

こういった生活をしてきて痛感するのですが、例えば欧米の方との間で、「君はどこからきた」「日本」「この要求は日本からきたのか」「そうだ」といったやり取りをした時、彼らには緊張感が生まれます。日本ならば大きな背景があるかもしれず、軽くは扱えない。そういう反応を見るたびに、日本というブランドはとても重要だと感じます。そしてこのブランドを作ってきたのは偉大な先輩達です。そして更にこの日本というブランドを磨いていくのが、私の役目だと思い、努力しているつもりです。皆さんもぜひ日本というブランドを意識しながら、世界と互角に戦って欲しいと思います。

いつも必ずしも順風満帆ではなくて、いろいろつらく、苦しく、壁にぶち当たることもあると思います。そんな時に思い出して欲しいのは、自分は一人ではないということです。いろんな仲間が皆さんにはいるでしょう。先輩という仲間がいる、先生という仲間がいる。一緒に修了するメンバーはまさしく大きな仲間です。何か上手くいかなかった時に相談する仲間がいるというのは、今後皆さんの人生に重要な意味を持つでしょう。この言葉をもって、修了の祝辞とさせていただきます。

本日はご修了おめでとうございました。



小林研究科長より感謝状を贈呈しました

プロフィール

八劔 洋一郎
 YATSURUGI YOICHIRO
 S A P ジャパン株式会社
 代表取締役社長

1978年東京工業大学卒業後、日本IBM、AT&Tグローバルサービス、日本テレコム等を経て、2005年1月から2006年12月まで株式会社ウィルコムにて代表取締役社長を務め、日本市場にスマートフォンを投入するなど、会社の再生を図り成功を収める。その後、2007年4月にSAPジャパン株式会社に入社、本年1月に代表取締役社長兼CEOに就任した。同社は、2007年度より内部統制対応の基盤となるmySAP ERP 2005のシステムを教材とした「ERPシステム実務」および「ERPシステム実務(実習)」を寄附講座(正規学科目)として、早稲田大学会計研究科に提供している。

U.H. Professor Misawa-Honjo International Fellowship
Shidler College of Business, University of Hawai'i at Manoa (UHSCB)



ハワイ
からのお便り。



University of Hawai'i at Manoa (以下UH) に留学して約1ヶ月経ちますが、大変忙しいながらも充実した毎日を送っています。私の体験記を通してこのプログラムに興味を持っていただければと思います。

私がこのプログラムに応募した理由は、会計士試験、アメリカ語学研修を経験し、その中で興味を持ったファイナンスや英語を、留学という形を通じて学びたいと考えたからです。

ハワイ独特の雰囲気や文化に魅かれ、UHには世界中から学生が集まっています。留学生の割合が非常に高いだけでなく、アメリカ本土出身の学生も多く、皆真剣に学んでいます。図書館は24時間開放されているので、たとえ夜12時でも、多くの学生が無料で配られるコーヒーを片手に勉強していたり、各自のPCでレポートを書いている光景に遭遇します。日本では考えられない光景ですので、非常に刺激を受けています。

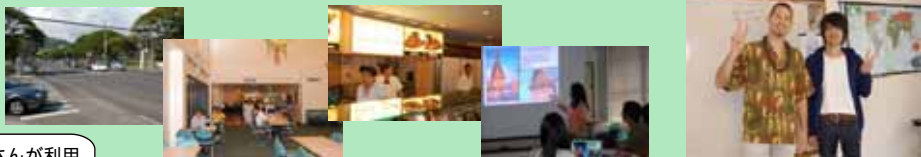
現在は、UH付属の語学学校であるNICEに通っています。Discussionを通して授業が行われるので、発言する機会が多く、大変勉強になります。NICEには主にアジア各国から英語を学びに来られている方が多く在籍していますが、同じアジアという地域の中でも食事、習慣など文化の違いを強く感じます。その中でも、各国の言語を用いてではなく、同じ趣味を持っていて話が盛り上がりたりできるのは、各々が英語という言語を学んでいるからこそであり、素晴らしいことだと思います。



千葉 真郎
Chiba Masao
会計研究科 2年

5月末からは、UHSCBのSummer Sessionが始まります。本留学を支援してくださっている三澤満教授担当のInternational Finance、他にMBAコース1科目を聴講させていただく予定です。

最後に、本留学は様々な方々のご協力によって支えられています。改めて深く御礼申し上げます。また、このプログラムに少しでも興味をお持ちの方は、留学生としてハワイで学ぶことは非常に貴重な経験ですので、是非チャレンジしてほしいと思います。



千葉さんが利用したプログラムはこちら

Let's study abroad!

2009年度海外留学奨学金 三澤本庄国際奨学金

留学先 : Shidler College of Business, University of Hawai'i at Manoa
派遣期間 : ハワイ大学マノア校のSummer Sessions 2009 (2009年5月末~6月末を予定)
募集人員 : 早稲田大学より1名(追加があり2名になる場合あり)
給付額 : 60万円(その他、個人的生活諸費用など、給付額を超えるものについては自己負担)
応募資格 : 以下の条件すべてに該当すること
会計研究科の正規生または商学研究科の正規生(修士課程の学生を優先)かつ日本国籍を有する者
2009年度に正規学生として在学している者
TOEFL®PBT550, CBT213, iBT79-80以上を有する者(2007年11月以降に取得したもの)
ただし、TOEFL®PBT500(CBT173, iBT61)以上のスコアを有している者も応募可。
この場合、正規の科目等履修生ではなく、聴講生としての参加。
UHSCB三澤教授担当の国際金融論(F637)必ず履修。他にUHSCBのMBAコースを1-2科目選択可。
ハワイ大学マノア校Summer Sessionの詳細Webpage: <http://www.outreach.hawaii.edu/summer/>
提出書類 : 会計研究科事務所で配付している募集要項にて要確認。
選考方法 : 書類選考および面接(11月21日(金)午後の予定。)
応募期限 : 2008年11月19日(水)16:00まで

ハワイ大学と早稲田大学との提携関係に基づき、相互の学生の交流を図るため、ハワイ大学Shidler College of Business(以下UHSCB)の三澤満教授(国際金融担当)が本庄財団の資金支援のもとに設立したもので、年度資金240万円にて4名を対象。なお、本庄財団は、(株)伊藤園会長であった故本庄正則氏が、個人の保有資産と伊藤園株式を基本財産として寄付し、平成8年12月25日に設立された。三澤教授のプロフィールおよび大学院講義(F637)は、教授のWebpage(<http://www2.hawaii.edu/~misawa/>)を参照のこと。

会計研究科・夏合宿

今年もやってきました!「川村合宿」こと、会計研究科・夏合宿。はじめて企画した昨年は、80名近くが参加。教職員からは、川村先生を筆頭に、佐々木先生、米山先生、事務所スタッフ2名が参加し、1泊2日の合宿を通してたくさんの交流を深め、思う存分リフレッシュできたのではないのでしょうか。

さて、2008年度夏合宿は、場所を変えて鴨川セミナーハウスを予定しています。今回もさまざまなスポーツ・アクティビティを企画予定です。海・山・里の幸あふれる南房総・鴨川で、試験勉強のリフレッシュ、同輩・先輩との交流、とにかく運動不足を解消したい!方など、みなさま奮ってご参加ください!

昨年9月末、第1回会計研究科合宿が開催されました。

行き先は軽井沢。前日までの厳しい残暑とは打って変わって生憎の肌寒い雨でしたが午後1時には第1便のバスが学校を出发!夏休み明けで久しぶりに会った友達と楽しく過ごしているとあっという間に軽井沢に到着です。

到着してすぐ小雨の振る中バドミントンや卓球をして遊び、食事をして入浴の時間には後援隊も合流。その後はメインイベント(!?)の飲み会です。学年を超えてゲームをしたり、先生と卓球をしたり、話をしたり。気づけば時間は深夜になっていました。

翌日は朝からみんなで爽やかにスポーツ!といきたかったのですが、やはり雨。私たちは室内で囲碁遊びをしていましたが、アウトレットへ買い物に行った人もいるみたいです。

春学期は会計士試験が控えていることもあり忙しく同じクラス以外の人とはなかなか交流を持てなかったりもしますが、秋学期は少し余裕があるのでより多くの仲間と触れ合うことができると思います。親睦を深めるきっかけにもなった楽しい会計研合宿でした。



会計研究科2年
林暉(Hitomi Haya-shi)

さくねんど
さんかしゃのこえ



もうすっかり夏ですね!会計研の夏といえば川村合宿。笑
川村合宿とは、卓球王子こと川村先生主催の会計研最大規模の懇親イベントです。昨年は80名近い参加があり、大いに盛り上がりました!あいにくの天気、予定していたレクリエーション(野球、テニス、サッカー、バスケetc)は、できなかったものの、この合宿をきっかけに交友関係が広がり、仲を深められたように思います。試験の疲れを労うもよし。終電を気にせず飲み語らうもよし。先生方と絡み尽くすもよし。会計研に所属している以上、この機会は平等に与えられています。(川村先生・事務所の方々に感謝!)感じ方は人それぞれだと思いますが、自分なりの目的を持って参加すれば、有意義な時間が過ごせることと思いますので、奮って参加されることをお勧め致します!

会計研究科2年 浜野翔伍(Shogo Hamano)



2008年度「夏合宿」参加申込みについて

日程 2008年8月27日(水)・28日(木)の1泊2日
場所 早稲田大学鴨川セミナーハウス(予定)
参加資格 会計研究科の正規学生ならどなたでも!
参加費 申込者に後日連絡します。 昨年度実績:12,000円
申込期間 2008年5月26日(月)~6月30日(月)
申込方法 メールで題を「夏合宿参加申込」とし、氏名・学籍番号・携帯電話番号を下記アドレスまでお知らせ下さい。
E-mail: accounting-student@list.waseda.jp

以上

学生実行委員を募集!

夏合宿の企画や運営を担う学生実行委員を募集します。1年生も2年生も、昨年参加した方も今年初めて参加する方も、大歓迎です。役者と裏方の両方を体験して、夏合宿をより思い出深いものにしませんか。事務所スタッフに声をかけてください

【6/19(木)】監査法人経営者（公認会計士）によるキャリア講演会開催

講演会の
お知らせ

- 【日時】 6月19日（木）13：00～14：00
【場所】 7号館222教室（早稲田キャンパス）
【演題】 「監査実務の現場から...
監査法人経営者として、何より早稲田の先輩して語ります」
【講師】 優成監査法人統括代表社員 加藤 善孝氏
【申込方法】 メールで題を「6月19日監査法人セミナー申込」とし、氏名・学籍番号を下記
アドレスまでお知らせください。E-mail：accounting@list.waseda.jp
【内容】 講演終了後、質疑応答・個別相談(優成監査法人所属の会計研0Bも来校)予定

n 新入生インタビュー n



後 美帆
Ushiro Miho
会計研究科1年

こんにちは、1組の後(うしろ)です。学部時代は、人間科学部で情報の勉強をしていましたが、将来は会計の仕事に就きたいと思い、会計研究科に入学しました。

入学から2ヶ月がたちましたが、どの授業もすごく楽しくて、毎朝の早起きや通勤ラッシュも苦にならないくらいです。授業では、試験に必要な知識を身につけることができるだけでなく、会計に関するいろいろなお話を聞くことができ、会計の知識の幅も、将来の選択肢も、広がった気がします。

会計研究科には、同じ目標に向かって頑張る先輩や友達がいる、興味深い授業がたくさんあり、自習室やロッカーなども充実していて、恵まれた環境で学ぶことができることに、感謝しています。

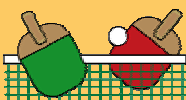
これから2年間、よろしく願い致します。

メッセージ

本年度もオール会計研の夏合宿を企画いたしました。事務所の皆さんのお力添えで、人気の鴨川セミナーハウスを予約できました。

昨年度は、軽井沢での実験的な「川村合宿」でしたが、想像以上に多数の学生・教職員の皆さんに参加して頂き、親睦を深めるいい機会となりました。バスの中では修学旅行気分を味わい、徐々に学部生の気分でお酒も飲みましたし、将来の夢やプライベートの話で大いに盛り上がりました。出注意のクマやイノシシに囲まれて、佐々木先生、米山先生とバンガローに同宿した思い出は、一生忘れられません。

今年度は、論文式試験が終了してほっと一息つける時期に楽しいひとときを過ごしたいと思います。残暑厳しい鴨川ですので、受験勉強明けのなまった体にはきついかも知れません。昼間に運動ができない人は、夜の部で活躍して下さい。今年度も、電卓・監査小六法等、勉強道具持込不可です。代わりに、トランプや花札でも持ってきて下さい。ということで、多数の学生諸君の参加を楽しみにしています。先生方、職員の皆さんも、学生気分を味わういい機会ですので、一緒にできるのを心待ちにしております。



川村義則
(会計研究科教授)



事務所からのお知らせ

研究科事務所の開室時間は
月曜～土曜 9:00 - 17:00です
(日曜・祝日は閉室)

夜間科目の運営の便宜を図るため、17時以降も事務所入口を開錠しています。しかし、登録申請やレポート提出等の事務手続きは、本来の開室時間である17時までには必ず済ませてください。

19号館5階自習室の日曜・祝日の
利用申請は、利用日の2日前の
16時まで。

日曜日の利用は金曜の16時、締切日が休日である場合はその前日16時を締切とします。

申告のない学生は一切利用できません。利用の際は学生証を必ず携帯してください。